



各 位

会 社 名 ハイビック株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長
田 村 光 一
(J A S D A Q : コード 7845)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長
池 澤 隆 夫
電 話 番 号 0 2 8 5 - 2 5 - 4 7 8 5
(URL <http://www.hivic.co.jp>)

(訂正)「平成 20 年 3 月期決算短信」の一部訂正について

平成 20 年 5 月 16 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期決算短信」の記載内容に一部訂正すべき箇所がございましたので、下記のとおり、訂正いたします。

なお、訂正箇所につきましては、下線を付し、太字にて表示しております。

記

I 訂正理由

1. 決算発表後に会計監査人から受けた指摘による訂正。
2. 社内でのチェック体制が不十分だったことによる訂正。
3. 会計システムの不具合による訂正。

II 訂正箇所

1. (5 ページ)「1. 経営成績 (2) 財政状態に関する分析 ②キャッシュ・フローの状況」

【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた「資金」は、11 百万円となりました。これは主に、売上債権 19 億 1 百万円の増加、たな卸資産 11 億 89 百万円の増加、仕入債務 39 億 87 百万円の減少、のれん等の減損損失 10 億 59 百万円を反映したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した「資金」は、8 億 99 百万円となりました。これは主に、金融機関からの借入金の返済による支出 4 億 41 百万円、支払配当金 3 億 41 百万円を反映したことによるものであります。

【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた「資金」は、11 百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益 3 億 57 百万円に加え、売上債権の減少による 16 億 92 百万円の増加、たな卸資産の減少による 9 億 2 百万円の増加及び仕入債務の減少による 30 億 14 百万円の減少を反映し、また、非資金項目ののれん等の減損損失 10 億 59 百万円の調整等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した「資金」は、8 億 99 百万円となりました。これは主に、金融機関からの借入金の返済による支出 9 億 42 百万円、長期借入による収入 5 億円、支払配当金 3 億 41 百万円を反映したこと等によるものであります。

2. (14 ページ)「4. 連結財務諸表 (2) 連結損益計算書」

【訂正前】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	
(前略)		(前略)		(前略)		
少数株主利益			-		18,003	0.1
当期純利益又は当期純 損失(△)		1,099,592	3.7	△362,842	△1.2	△1,462,435

【訂正後】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	
(前略)		(前略)		(前略)		
少数株主損失			-		18,003	0.1
当期純利益又は当期純 損失(△)		1,099,592	3.7	△362,842	△1.2	△1,462,435

3. (18 ページ)「4. 連結財務諸表 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書」

【訂正前】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)		金額 (千円)		
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・ フロー (中略)		(中略)		(中略)		
8 投資有価証券の売却による 収入			608,530	601,232		△7,297
9 貸付金の回収による収入			800	1,210		410
10 連結範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による支出	※3		-	△187,948		△187,948
11 連結範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による収入	※2		830,866	-		△830,866
投資活動によるキャッシュ・ フロー			△777,128	216,612		993,741

【訂正後】

		前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)	対前年比
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	増減 (千円)
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・ フロー (中 略)		(中 略)	(中 略)	
8 投資有価証券の売却による 収入		608,530	398,192	△210,337
9 投資有価証券の償還による 収入		—	203,040	203,040
10 貸付金の回収による収入		800	1,210	410
11 連結範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による支出	※3	—	△187,948	△187,948
12 連結範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による収入	※2	830,866	—	△830,866
投資活動によるキャッシュ・ フロー		△777,128	216,612	993,741

4. (25～26 ページ)「注記事項 (連結損益計算書関係)」

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)								
※4. _____	<p>※4. 減損損失</p> <p>(1) 資産のグルーピング方法 当社グループは、事業の種類別セグメントを基準として、商品やサービスの性質、市場の類似性、地域性等を勘案して資産のグルーピングを実施しております。 (中 略)</p> <p>(3) 減損損失の認識に至った経緯 土地を計上している事業単位については、収益性が低下したため、減損損失を認識しております。</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 この資産について、収益性の低下および回収可能価額が帳簿価額を下回っており、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。 (中 略)</p>								
※5. _____	<p>※5. のれんの減損損失 (中 略)</p> <p>(2) 減損を認識した資産</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>減損損失</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二</td> <td>—</td> <td>のれん</td> <td>1,027,311 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(後 略)</p>	場所	用途	種類	減損損失	二	—	のれん	1,027,311 千円
場所	用途	種類	減損損失						
二	—	のれん	1,027,311 千円						

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)								
※ 4. _____	<p>※ 4. 減損損失</p> <p>(1) 資産のグルーピング方法 当社グループは、事業の種類別セグメントを基準として、商品やサービスの性質、市場の類似性、地域性等を勘案し、遊休資産は物件毎に資産のグルーピングを実施しております。</p> <p style="text-align: center;">(中 略)</p> <p>(3) 減損損失の認識に至った経緯 一部の遊休資産については、市場価格が下落したため、減損損失を認識しております。</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 この資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回っており、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。 当連結会計年度に計上した減損損失の測定における回収可能価額は、不動産鑑定士による鑑定評価額により算出しております。</p>								
※ 5. _____	<p>※ 5. のれんの減損損失</p> <p style="text-align: center;">(中 略)</p> <p>(2) 減損を認識した資産</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">事業</th> <th style="text-align: center;">減損損失</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">のれん</td> <td style="text-align: center;">住宅資材製造販売 事業・住宅施工事業</td> <td style="text-align: right;">1,027,311 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(後 略)</p>	用途	種類	事業	減損損失	—	のれん	住宅資材製造販売 事業・住宅施工事業	1,027,311 千円
用途	種類	事業	減損損失						
—	のれん	住宅資材製造販売 事業・住宅施工事業	1,027,311 千円						

5. (29 ページ)「注記事項 (連結キャッシュ・フロー計算書関係)」

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)																
※ 3. _____	<p>※ 3. 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳</p> <p style="text-align: center;">(中 略)</p> <p>(2) 日東木材産業(株)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">1,028,063 千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">508,556 千円</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">193,273 千円</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">967,204 千円</td> </tr> <tr> <td>少数株主持分</td> <td style="text-align: right;">△64,772 千円</td> </tr> <tr> <td>同社株式の取得価額</td> <td style="text-align: right;">327,800 千円</td> </tr> <tr> <td>同社現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">141,643 千円</td> </tr> <tr> <td>差引：同社取得による支出</td> <td style="text-align: right;">△186,156 千円</td> </tr> </table>	流動資産	1,028,063 千円	固定資産	508,556 千円	のれん	193,273 千円	流動負債	967,204 千円	少数株主持分	△64,772 千円	同社株式の取得価額	327,800 千円	同社現金及び現金同等物	141,643 千円	差引：同社取得による支出	△186,156 千円
流動資産	1,028,063 千円																
固定資産	508,556 千円																
のれん	193,273 千円																
流動負債	967,204 千円																
少数株主持分	△64,772 千円																
同社株式の取得価額	327,800 千円																
同社現金及び現金同等物	141,643 千円																
差引：同社取得による支出	△186,156 千円																

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)																		
※3.	<p>※3. 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳 (中 略)</p> <p>(2) 日東木材産業株</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">998,063 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">固定資産</td> <td style="text-align: right;">538,556 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">のれん</td> <td style="text-align: right;">193,273 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">流動負債</td> <td style="text-align: right;">997,204 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">固定負債</td> <td style="text-align: right;">340,116 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">少数株主持分</td> <td style="text-align: right;">△64,772 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">同社株式の取得価額</td> <td style="text-align: right;">327,800 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">同社現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">141,643 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引：同社取得による支出</td> <td style="text-align: right;">△186,156 千円</td> </tr> </table>	流動資産	998,063 千円	固定資産	538,556 千円	のれん	193,273 千円	流動負債	997,204 千円	固定負債	340,116 千円	少数株主持分	△64,772 千円	同社株式の取得価額	327,800 千円	同社現金及び現金同等物	141,643 千円	差引：同社取得による支出	△186,156 千円
流動資産	998,063 千円																		
固定資産	538,556 千円																		
のれん	193,273 千円																		
流動負債	997,204 千円																		
固定負債	340,116 千円																		
少数株主持分	△64,772 千円																		
同社株式の取得価額	327,800 千円																		
同社現金及び現金同等物	141,643 千円																		
差引：同社取得による支出	△186,156 千円																		

6. (30 ページ)「注記事項 (リース取引関係)」

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)																																																				
<p>1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額相当額 (千円)</th> <th style="text-align: center;">減価償却累計額相当額 (千円)</th> <th style="text-align: center;">期末残高相当額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">944,608</td> <td style="text-align: right;">605,959</td> <td style="text-align: right;">338,648</td> </tr> <tr> <td>(有形固定資産) その他</td> <td style="text-align: right;">2,690</td> <td style="text-align: right;">461</td> <td style="text-align: right;">2,228</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: right;">22,430</td> <td style="text-align: right;">14,941</td> <td style="text-align: right;">7,488</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">969,728</td> <td style="text-align: right;">621,363</td> <td style="text-align: right;">348,365</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中 略)</p> <p>(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">205,613 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">195,735 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">10,860 千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(後 略)</p>		取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)	機械装置及び運搬具	944,608	605,959	338,648	(有形固定資産) その他	2,690	461	2,228	無形固定資産	22,430	14,941	7,488	合計	969,728	621,363	348,365	支払リース料	205,613 千円	減価償却費相当額	195,735 千円	支払利息相当額	10,860 千円	<p>1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (借主側)</p> <p>(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額相当額 (千円)</th> <th style="text-align: center;">減価償却累計額相当額 (千円)</th> <th style="text-align: center;">期末残高相当額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">1,158,508</td> <td style="text-align: right;">764,461</td> <td style="text-align: right;">394,046</td> </tr> <tr> <td>(有形固定資産) その他</td> <td style="text-align: right;">5,606</td> <td style="text-align: right;">2,055</td> <td style="text-align: right;">3,550</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: right;">53,389</td> <td style="text-align: right;">34,894</td> <td style="text-align: right;">17,594</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">1,217,503</td> <td style="text-align: right;">801,411</td> <td style="text-align: right;">415,191</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(中 略)</p> <p>(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">236,844 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">217,547 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">15,445 千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(後 略)</p>		取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)	機械装置及び運搬具	1,158,508	764,461	394,046	(有形固定資産) その他	5,606	2,055	3,550	無形固定資産	53,389	34,894	17,594	合計	1,217,503	801,411	415,191	支払リース料	236,844 千円	減価償却費相当額	217,547 千円	支払利息相当額	15,445 千円
	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)																																																		
機械装置及び運搬具	944,608	605,959	338,648																																																		
(有形固定資産) その他	2,690	461	2,228																																																		
無形固定資産	22,430	14,941	7,488																																																		
合計	969,728	621,363	348,365																																																		
支払リース料	205,613 千円																																																				
減価償却費相当額	195,735 千円																																																				
支払利息相当額	10,860 千円																																																				
	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相当額 (千円)																																																		
機械装置及び運搬具	1,158,508	764,461	394,046																																																		
(有形固定資産) その他	5,606	2,055	3,550																																																		
無形固定資産	53,389	34,894	17,594																																																		
合計	1,217,503	801,411	415,191																																																		
支払リース料	236,844 千円																																																				
減価償却費相当額	217,547 千円																																																				
支払利息相当額	15,445 千円																																																				

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)				当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)			
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（借主側） (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額				1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引（借主側） (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額			
	取得価額相当額（千円）	減価償却累計額相当額（千円）	期末残高相当額（千円）		取得価額相当額（千円）	減価償却累計額相当額（千円）	期末残高相当額（千円）
機械装置及び運搬具	944,608	605,959	338,648	機械装置及び運搬具	1,158,508	764,461	394,046
（有形固定資産）その他	2,690	461	2,228	（有形固定資産）その他	5,606	2,055	3,550
無形固定資産	22,430	14,941	7,488	無形固定資産	53,389	34,456	18,932
合計	969,728	621,363	348,365	合計	1,217,503	800,973	416,529
（ 中 略 ）				（ 中 略 ）			
(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 205,613 千円 減価償却費相当額 195,735 千円 支払利息相当額 10,860 千円				(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 236,844 千円 減価償却費相当額 217,523 千円 支払利息相当額 15,445 千円			
（ 後 略 ）				（ 後 略 ）			

7. (35 ページ)「注記事項 (退職給付関係) 2. 退職給付債務及びその内訳」

【訂正前】

	前連結会計年度 (平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 20 年 3 月 31 日)
(1) 退職給付債務（千円）	△251,811	△195,370
(2) 年金資産（千円）	52,633	21,019

【訂正後】

	前連結会計年度 (平成 19 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 20 年 3 月 31 日)
(1) 退職給付債務（千円）	△251,811	△211,287
(2) 年金資産（千円）	52,633	36,937

8. (38 ページ)「注記事項 (ストック・オプション等関係) 当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日) 1. ストック・オプションの内容、規模及びその変動状況
(2) ストック・オプションの規模及びその変動状況 ① ストック・オプションの数」

【訂正前】

	平成 16 年 第 1 回ストック・オプション	平成 17 年 第 2 回ストック・オプション
権利確定前 前連結会計年度末 付与	99,000 —	72,000 —

失効		—	—
権利確定		<u>99,000</u>	72,000
未確定残		—	—
権利確定後	(株)		
前連結会計年度末		—	—
権利確定		<u>99,000</u>	72,000
権利行使		12,000	—
失効		—	15,000
未行使残		87,000	57,000

【訂正後】

	平成16年 第1回ストック・オプション	平成17年 第2回ストック・オプション
権利確定前		
前連結会計年度末	—	72,000
付与	—	—
失効	—	—
権利確定	—	72,000
未確定残	—	—
権利確定後		
前連結会計年度末	<u>99,000</u>	—
権利確定	—	72,000
権利行使	12,000	—
失効	—	15,000
未行使残	87,000	57,000

9. (39 ページ)「注記事項 (税効果会計関係)」

【訂正前】

前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳
(1) 流動資産	(1) 流動資産
繰延税金資産	繰延税金資産
未払事業税	未払事業税
42,533 千円	14,682 千円
貸倒引当金	貸倒引当金
255 千円	<u>8,069 千円</u>
賞与引当金	賞与引当金
25,235 千円	25,874 千円
商品評価損	商品評価損
3,642 千円	<u>3,235 千円</u>
内部取引の未実現利益	内部取引の未実現利益
16,035 千円	13,269 千円
その他	その他
4,832 千円	<u>216,427 千円</u>
繰延税金資産小計	繰延税金資産小計
92,534 千円	<u>281,560 千円</u>
評価性引当額	評価性引当額
△8,913 千円	<u>△223,480 千円</u>
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
83,620 千円	58,079 千円
(中 略)	(中 略)
(3) 固定資産	(3) 固定資産
繰延税金資産	繰延税金資産
貸倒引当金	貸倒引当金
20,755 千円	<u>21,979 千円</u>

退職給付引当金	80,468千円	退職給付引当金	51,138千円
役員退職慰労引当金	169,080千円	役員退職慰労引当金	176,043千円
会員権評価損	17,493千円	会員権評価損	7,389千円
税務上の繰越欠損金	493,855千円	税務上の繰越欠損金	527,488千円
減損損失	93,143千円	減損損失	106,153千円
その他	18,257千円	その他	122,531千円
繰延税金資産小計	893,054千円	繰延税金資産小計	1,012,724千円
評価性引当額	△592,727千円	評価性引当額	△699,930千円
繰延税金資産合計	300,326千円	繰延税金資産合計	312,794千円
(後 略)		(後 略)	

【訂正後】

前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当連結会計年度 (平成20年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の内訳
(1) 流動資産	(1) 流動資産
繰延税金資産	繰延税金資産
未払事業税	未払事業税
42,533千円	14,682千円
貸倒引当金	貸倒引当金
255千円	21,324千円
賞与引当金	賞与引当金
25,235千円	25,874千円
商品評価損	商品評価損
3,642千円	18,694千円
内部取引の未実現利益	内部取引の未実現利益
16,035千円	13,269千円
その他	その他
4,832千円	14,906千円
繰延税金資産小計	繰延税金資産小計
92,534千円	108,752千円
評価性引当額	評価性引当額
△8,913千円	△50,672千円
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
83,620千円	58,079千円
	繰延税金資産の純額
	58,079千円
(中 略)	(中 略)
(3) 固定資産	(3) 固定資産
繰延税金資産	繰延税金資産
貸倒引当金	貸倒引当金
20,755千円	8,724千円
退職給付引当金	退職給付引当金
80,468千円	70,437千円
役員退職慰労引当金	役員退職慰労引当金
169,080千円	176,043千円
会員権評価損	会員権評価損
17,493千円	19,024千円
税務上の繰越欠損金	税務上の繰越欠損金
493,855千円	651,932千円
減損損失	減損損失
93,143千円	106,153千円
その他	その他有価証券評価差額金
18,257千円	98,042千円
繰延税金資産小計	繰延税金資産小計
893,054千円	1,148,727千円
評価性引当額	評価性引当額
△592,727千円	△835,932千円
繰延税金資産合計	繰延税金資産合計
300,326千円	312,794千円
(後 略)	(後 略)

10. (41 ページ)「注記事項 (セグメント情報) a. 事業の種類別セグメント情報」

【訂正前】

当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

	住宅資材製造販売事業 (千円)	住宅施工事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	12,538,052	153,945	385,195	13,077,193	3,492,252	16,569,446
減価償却費	<u>236,824</u>	1,709	11,903	<u>250,437</u>	18,897	<u>269,335</u>
資本的支出	121,795	15,125	—	136,920	54,258	191,178

【訂正後】

当連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

	住宅資材製造販売事業 (千円)	住宅施工事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去または全社 (千円)	連結 (千円)
(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)	(前略)
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	12,538,052	153,945	385,195	13,077,193	3,492,252	16,569,446
減価償却費	<u>256,055</u>	1,709	11,903	<u>269,668</u>	18,897	<u>288,566</u>
資本的支出	121,795	15,125	—	136,920	54,258	191,178

11. (48 ページ)「5. 個別財務諸表 (2) 損益計算書」

【訂正前】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)		当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	
(前略)		(前略)		(前略)		
IV 営業外収益		(中略)		(中略)		
4 仕入割引		32,348		29,523		
5 雑収入		8,968	99,075	<u>38,469</u>	114,458	0.5
(中略)		(中略)		(中略)		
VII 特別損失		(中略)		(中略)		
5 貸倒引当金繰入額	※7	—	123	1,013,280	1,374,865	<u>6.2</u>
(中略)		(中略)		(中略)		
法人税等調整額		△20,207	422,718	779	499,084	<u>2.3</u>
(後略)		(後略)		(後略)		

【訂正後】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)		当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)		対前年比 増減 (千円)
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	
(前 略)		(前 略)		(前 略)		
IV 営業外収益		(中 略)		(中 略)		
4 投資有価証券評価益		二		<u>12,547</u>		
5 仕入割引		32,348		29,523		
6 損害補償金		二		<u>14,015</u>		
7 雑収入		8,968	99.075	<u>11,906</u>	114,458	0.5
(中 略)		(中 略)		(中 略)		
VII 特別損失		(中 略)		(中 略)		
5 貸倒引当金繰入額	※7	-	123	1,013,280	1,374,865	<u>6.3</u>
(中 略)		(中 略)		(中 略)		
法人税等調整額		△	422,718	779	499,084	<u>2.2</u>
20,207						
(後 略)		(後 略)		(後 略)		

12. (51 ページ)「5. 個別財務諸表 (3)株主資本等変動計算書」

【訂正前】

当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				利益剰余金 合計
				別途積立金	繰越利益 剰余金				
平成 19 年 3 月 31 日 残高 (千円)	549,285	456,528	<u>465,528</u>	97,827	3,651,162	1,478,620	5,227,610	△180	6,233,243
(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)

【訂正後】

当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				利益剰余金 合計
				別途積立金	繰越利益 剰余金				
平成 19 年 3 月 31 日 残高 (千円)	549,285	456,528	<u>456,528</u>	97,827	3,651,162	1,478,620	5,227,610	△180	6,233,243
(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)	(後略)

13. (56～57 ページ)「注記事項 (損益計算書関係)」

【訂正前】

前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)								
(前 略)	(前 略)								
<p>※ 2. 販売費に属する費用のおおよその割合は 2.7%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は 97.3%であります。</p> <p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">292,044 千円</td> </tr> </table>	給与手当	292,044 千円	<p>※ 2. 販売費に属する費用のおおよその割合は 2.0%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は 98.0%であります。</p> <p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与手当</td> <td style="text-align: right;"><u>188,458 千円</u></td> </tr> </table>	給与手当	<u>188,458 千円</u>				
給与手当	292,044 千円								
給与手当	<u>188,458 千円</u>								
(中 略)	(中 略)								
※ 5. —	<p>※ 5. 減損損失</p> <p>(1) 資産のグルーピング方法 当社は、<u>事業の種類別セグメントを基準として、商品やサービスの性質、市場の類似性、地域性等を勘案して</u>資産のグルーピングを実施しております。</p> <p>(2) 減損を認識した資産</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>減損損失</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅施行事業における事務所在地</td> <td>二</td> <td>土地</td> <td>32,201 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 減損損失の認識に至った経緯 <u>土地を計上している事業単位</u>については、<u>収益性が低下したため</u>、減損損失を認識しております。</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法 この資産について、<u>収益性の低下および</u>回収可能価額が帳簿価額を下回っており、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>当連結会計年度に計上した減損損失の測定における回収可能価額は、不動産鑑定士による鑑定評価額により算出しております。</p>	場所	用途	種類	減損損失	住宅施行事業における事務所在地	二	土地	32,201 千円
場所	用途	種類	減損損失						
住宅施行事業における事務所在地	二	土地	32,201 千円						
※ 6. —	<p>※ 6. 関係会社株式評価損の相手先別の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">ハイビックホームコンポーネント(株)</td> <td style="text-align: right;">225,999 千円</td> </tr> <tr> <td>ハイビックマテリアル(株)</td> <td style="text-align: right;">9,999 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;"><u>235,999 千円</u></td> </tr> </table>	ハイビックホームコンポーネント(株)	225,999 千円	ハイビックマテリアル(株)	9,999 千円	計	<u>235,999 千円</u>		
ハイビックホームコンポーネント(株)	225,999 千円								
ハイビックマテリアル(株)	9,999 千円								
計	<u>235,999 千円</u>								
※ 7. —	<p>※ 7. 貸倒引当金繰入額の内容は<u>子会社債務超過損失額</u>に対する引当金繰入額であり、相手先別の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">ハイビックホームコンポーネント(株)</td> <td style="text-align: right;"><u>780,305 千円</u></td> </tr> <tr> <td>ハイビックマテリアル(株)</td> <td style="text-align: right;"><u>188,728 千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;"><u>969,034 千円</u></td> </tr> </table>	ハイビックホームコンポーネント(株)	<u>780,305 千円</u>	ハイビックマテリアル(株)	<u>188,728 千円</u>	計	<u>969,034 千円</u>		
ハイビックホームコンポーネント(株)	<u>780,305 千円</u>								
ハイビックマテリアル(株)	<u>188,728 千円</u>								
計	<u>969,034 千円</u>								

【訂正後】

前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)								
(前 略)	(前 略)								
<p>※ 2. 販売費に属する費用のおおよその割合は 2.7%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は 97.3%であります。</p> <p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与手当 292,044 千円</p>	<p>※ 2. 販売費に属する費用のおおよその割合は 2.0%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は 98.0%であります。</p> <p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与手当 <u>321,174 千円</u></p>								
(中 略)	(中 略)								
※ 5. —	<p>※ 5. 減損損失</p> <p>(1) 資産のグルーピング方法</p> <p>当社は、<u>管理会計上の区分を基本として、賃貸資産及び遊休資産は物件毎に</u>資産のグルーピングを実施しております。</p> <p>(2) 減損を認識した資産</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">減損損失</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">栃木県小山市</td> <td style="text-align: center;">遊休資産</td> <td style="text-align: center;">土地</td> <td style="text-align: right;">32,201 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 減損損失の認識に至った経緯</p> <p><u>一部の遊休資産</u>については、<u>市場価格が下落し、当該資産の帳簿価額が全額回収できる可能性が低いと判断したため</u>、減損損失を認識しております。</p> <p>(4) 回収可能額の算定方法</p> <p>この資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回っており、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>当事業年度に計上した減損損失の測定における回収可能価額は、不動産鑑定士による鑑定評価額により算出しております。</p>	場所	用途	種類	減損損失	栃木県小山市	遊休資産	土地	32,201 千円
場所	用途	種類	減損損失						
栃木県小山市	遊休資産	土地	32,201 千円						
※ 6. —	<p>※ 6. 関係会社株式評価損の相手先別の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">ハイビックホームコンポーネント(株)</td> <td style="text-align: right;">225,999 千円</td> </tr> <tr> <td>ハイビックマテリアル(株)</td> <td style="text-align: right;">9,999 千円</td> </tr> <tr> <td><u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u></td> <td style="text-align: right;"><u>9,999 千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;"><u>245,999 千円</u></td> </tr> </tbody> </table>	ハイビックホームコンポーネント(株)	225,999 千円	ハイビックマテリアル(株)	9,999 千円	<u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u>	<u>9,999 千円</u>	計	<u>245,999 千円</u>
ハイビックホームコンポーネント(株)	225,999 千円								
ハイビックマテリアル(株)	9,999 千円								
<u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u>	<u>9,999 千円</u>								
計	<u>245,999 千円</u>								
※ 7. —	<p>※ 7. 貸倒引当金繰入額の内容は<u>関係会社債務超過額</u>に対する引当金繰入額であり、相手先別の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="width: 80%;">ハイビックホームコンポーネント(株)</td> <td style="text-align: right;"><u>843,423 千円</u></td> </tr> <tr> <td>ハイビックマテリアル(株)</td> <td style="text-align: right;"><u>149,757 千円</u></td> </tr> <tr> <td><u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u></td> <td style="text-align: right;"><u>20,099 千円</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;"><u>1,013,280 千円</u></td> </tr> </tbody> </table>	ハイビックホームコンポーネント(株)	<u>843,423 千円</u>	ハイビックマテリアル(株)	<u>149,757 千円</u>	<u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u>	<u>20,099 千円</u>	計	<u>1,013,280 千円</u>
ハイビックホームコンポーネント(株)	<u>843,423 千円</u>								
ハイビックマテリアル(株)	<u>149,757 千円</u>								
<u>ハイビックビルダーズサポート(株)</u>	<u>20,099 千円</u>								
計	<u>1,013,280 千円</u>								

14. (60 ページ)「注記事項 (1 株当たり情報)」

【訂正前】

	前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)
1 株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額		
当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	1,086,035	<u>△133,854</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
<u>(うち利益処分による役員賞与金)</u>	<u>(—)</u>	<u>(—)</u>
普通株式に係る当期純利益又は普通株式に係る当期純損失 (△) (千円)	1,086,035	△113,854
期中平均株式数 (千株)	33,943	33,981
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	160	—
(うち新株予約権)	(160)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

【訂正後】

	前事業年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)
1 株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額		
当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	1,086,035	<u>△113,854</u>
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は普通株式に係る当期純損失 (△) (千円)	1,086,035	△113,854
期中平均株式数 (千株)	33,943	33,981
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	160	—
(うち新株予約権)	(160)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	新株予約権 2 種 <u>(新株予約権の数 240 個)</u>

以 上